



【博士課程】臨床腫瘍学総論 (D2)、腫瘍生物学Ⅲ (D26)、臨床腫瘍学Ⅵ (D33)、
地域がん治療学 (D37-1)、がん医療社会学 (D37-3)
【修士課程】腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)

遺伝性腫瘍症候群の 遺伝カウンセリング技法 アップデート ～複雑なケースへの対応～

2025年 11月 15日 (土)

13:30～16:00

場 所: 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟2階 だんだん
※ハイブリッド開催

対象者: 医療従事者、遺伝医療に興味のある大学生・大学院生



【program】

13:30 開会 挨拶: 田村研治 (島根大学医学部附属病院 腫瘍内科/先端がん治療センター 教授)

13:30～14:30 講演「多様化する遺伝学的検査の選択と結果への対応」

桜橋渡辺未来医療病院 遺伝子診療センター/近畿大学病院 遺伝子診療部

臨床遺伝専門医/遺伝性腫瘍専門医 **田村 和朗 先生**

14:30～15:30 遺伝性腫瘍症候群に関する症例検討会

司会: 栗野宏之 (鳥取大学 研究推進機構研究基盤センター 臨床遺伝専門医)

荒木もも子 (島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター 認定遺伝カウンセラー)

15:30～15:40 休憩

15:40～16:00 キャリア支援相談会

臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー、がん看護専門看護師

田村和朗先生には、
症例検討会、キャリア
支援相談会にて、続けて
ご助言いただきます。

遺伝性腫瘍症候群の現場では、医療の進歩とともに、遺伝カウンセリングに求められる知識や技法も進化しています。特に、検査対象の拡大 (MGPTなど) や情報の不確実性 (VUSなど)、そして家族内の関係性や心理的負担が複雑なケースにおいて、より高度なコミュニケーションスキルと意思決定支援能力が求められています。本セミナーでは、これらの背景をふまえた最新の遺伝カウンセリングに必要な知識を学ぶとともに複雑なケースの症例検討を通して、コミュニケーションや意思決定支援について考えます。



申込み方法 : こちらからお申込み下さい ※締切 11月14日 (金) 12:00

URL : <https://forms.gle/vnZuagbBvsWpAMic9>

セミナー内容に関するお問い合わせ

事務担当: 島根大学医学部附属病院 先端がん治療センター

TEL 0853-88-3128 E-mail ganpro-shimane@med.shimane-u.ac.jp

参加申込



がんプロHP

